

抽水  
植物

# 水面を覆い尽くし流れる切れ藻が 水利施設に押し寄せる

発行／2022年3月改訂 農林水産省農村振興局鳥獣対策・農村環境課

## ■ブラジルチドメグサ 特 緊



茎を伸ばしながら広がっている。(写真は5月)



茎の破片から再生した小さな葉。  
(写真は5月)



5月に開花していた。

葉：直径3～7cm

柄の部分ハート型にくぼむ。茎は長さ1mにもなる。

花は小さく目立たないが、開花は4月中旬～6月上旬。種子をつける。

## このような被害が出ます!!



秋遅く10月頃から冬期にかけて  
水門付近に集積。排水阻害を  
引き起こして水があふれた支線排水路。  
(写真は12月)



氾濫!

通水障害!

幹線用排兼用水路一面に繁茂し、秋から冬の大雨で流され、取水口に詰まって  
通水障害を引き起こす。水門に挟まったり、覆うことで、水門が開閉できなくなる  
おそれがある。(写真は4月)



水門に絡まり水門の開閉障害を  
引き起こす。(写真は12月)

水門の管理障害!

**特** (特定外来生物)は、外来生物法により、飼育・栽培、運搬、保管、野外に放つ・植える・撒くなどが禁止されています。

**緊** (緊急対策外来種)は、生態系被害防止外来種リストのカテゴリ区分で、対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある外来種です。

詳しくは、日本の外来種対策 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html> をご覧ください。

## ● 生育環境：

## 水路、河川、水辺、池沼

水路内の他の植物や柵のまわりに根を張る。(写真は5月)



茎が絡まって厚いマット状になり、人力での陸揚げは困難になる。九州では6～7月に最も繁茂する。(写真は12月)



## ● 繁殖方法：種子繁殖のほか、茎の破片からも再生し繁殖



泥の中に残った茎の破片から再生する。(写真は12月)



茎が次々に枝分かれしながら、水中や地中で横に広がる。種子からも増える。(写真は5月)

## ● 対策

- 種子で繁殖するので開花(おおよそ4～6月)、結実前に除去する。
- 水位が低下すると水底に根を張り除去が困難。水面に浮かんだ状態の時に除去する。
- 土中の茎や種子まで除去するには、表土を15cm程度除去する。
- 切れ藻(茎の破片)からも再生するので、それらもできるだけ回収する。

除去が容易な根を張る前の水面に浮かんだ状態。(写真は12月)



幹線用排水路(クリーク)で、6月～翌年の2月にかけて行われる重機での除去作業。

幹線用排水路(クリーク)で、6月～翌年の2月にかけて、重機が入らない場所で行われる船からの人力での除去作業。



### 本資料に対するお問い合わせ

北海道開発局農業振興課 011-700-6768  
東北農政局農村環境課 022-221-6256  
関東農政局農村環境課 048-740-0515

北陸農政局農村環境課 076-232-4533  
東海農政局農村環境課 052-223-4631  
近畿農政局農村環境課 075-414-9052

中国四国農政局農村環境課 086-224-9417  
九州農政局農村環境課 096-300-6436  
沖縄総合事務局農村振興課 098-866-1652